

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 12 月 4 日 (2014.12.4)

【公開番号】特開 2012-214693 (P2012-214693A)

【公開日】平成 24 年 11 月 8 日 (2012.11.8)

【年通号数】公開・登録公報 2012-046

【出願番号】特願 2012-5149 (P2012-5149)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 G 64/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 G 64/00

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 10 月 17 日 (2014.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

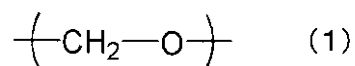
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記式 (1) で表される部位を有するジヒドロキシ化合物に由来する構造単位を有するポリカーボネート樹脂と、コア・シェル構造からなるエラストマーを含むポリカーボネート樹脂組成物であって、前記ポリカーボネート樹脂のガラス転移温度が 145 未満であり、前記エラストマーのコア層がブタジエン・スチレン共重合体からなる、ポリカーボネート樹脂組成物。

【化 1】



[ただし、上記式 (1) で表される部位が - C H₂ - O - H を構成する部位である場合を除く。]

【請求項 2】

ポリカーボネート樹脂組成物を厚さ 3 mm の成形体に成形したときの全光線透過率が 60 % 未満である、請求項 1 に記載のポリカーボネート樹脂組成物。

【請求項 3】

前記ポリカーボネート樹脂 100 重量部に対して前記エラストマーを 0.05 ~ 50 重量部含む、請求項 1 又は 2 に記載のポリカーボネート樹脂組成物。

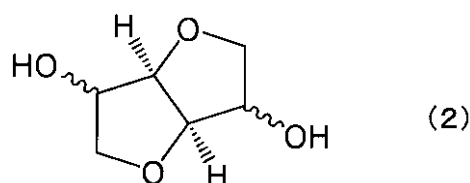
【請求項 4】

前記ポリカーボネート樹脂が環状構造を有するジヒドロキシ化合物に由来する構造単位を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のポリカーボネート樹脂組成物。

【請求項 5】

前記ポリカーボネート樹脂が下記式 (2) で表されるジヒドロキシ化合物に由来する構造単位を含む、請求項 4 に記載のポリカーボネート樹脂組成物。

【化 2】



【請求項 6】

前記エラストマーのシェル層が（メタ）アクリル酸アルキルよりなる、請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載のポリカーボネート樹脂組成物。

【請求項 7】

前記ポリカーボネート樹脂が脂肪族ジヒドロキシ化合物に由来する構造単位を含む、請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載のポリカーボネート樹脂組成物。

【請求項 8】

前記ポリカーボネート樹脂が、全ジヒドロキシ化合物に由来する構造単位に対して前記脂肪族ジヒドロキシ化合物に由来する構造単位を 20 mol % 以上含む、請求項 7 に記載のポリカーボネート樹脂組成物。

【請求項 9】

前記ポリカーボネート樹脂が、5 員環構造を有するジヒドロキシ化合物及び 6 員環構造を有するジヒドロキシ化合物からなる群より選ばれる少なくとも 1 種のジヒドロキシ化合物に由来する構造単位を含む、請求項 1～8 のいずれか 1 項に記載のポリカーボネート樹脂組成物。

【請求項 10】

前記ポリカーボネート樹脂が、シクロヘキサジメタノール類とトリシクロデカンジメタノール類とからなる群より選ばれる少なくとも 1 種のジヒドロキシ化合物に由来する構造単位を含む、請求項 1～9 のいずれか 1 項に記載のポリカーボネート樹脂組成物。

【請求項 11】

請求項 1～10 のいずれか 1 項に記載のポリカーボネート樹脂組成物を成形して得られる、ポリカーボネート樹脂成形品。

【請求項 12】

前記ポリカーボネート樹脂組成物を射出成形して得られる、請求項 11 に記載のポリカーボネート樹脂成形品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

[1] 下記式(1)で表される部位を有するジヒドロキシ化合物に由来する構造単位を有するポリカーボネート樹脂と、コア・シェル構造からなるエラストマーとを含むポリカーボネート樹脂組成物であって、前記ポリカーボネート樹脂のガラス転移温度が 145 未満であり、前記エラストマーのコア層がブタジエン-スチレン共重合体からなる、ポリカーボネート樹脂組成物。